

P-3-1

ピクノジェノール少量投与による 更年期障害の改善効果について - 二重盲検臨床試験 (170 例) -

Effect of low-dose French maritime pine bark extract on climacteric syndrome
in 170 perimenopausal women: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.

○小濱 隆文¹⁾

1) 恵寿総合病院

To evaluate the efficacy of a relatively low daily dosage of Pycnogenol (French maritime pine bark extract) for improvement of climacteric symptom, A double-blind, placebo-controlled study of 170 perimenopausal women were enrolled and treated with 30 mg Pycnogenol or placebo twice daily over a period of 3 months, resulted that applying a relatively low daily dose, allows identification of those climacteric symptoms which respond particularly well to supplementation with Pycnogenol.

【目的】

ピクノジェノール少量投与が更年期障害に改善効果を有するか否かを検討した。

【方法】

170 例の更年期障害患者に対して、一日 60mg (30mg を 2 回/日) のピクノジェノールもしくは偽薬を 3 ヶ月間摂取させ、二重盲検臨床を行った。スコアリングは Women's Health Questionnaire (WHQ) 及び Kupperman index を用い、性ホルモン、生化学検査も同時に行った。

【結果】

試験中、ピクノジェノール投与以外の理由による 7 名の脱落例が認められた。ピクノジェノール投与により、蟻走感と異常知覚感以外の全ての異常項目に投与前値と比較し改善が認められた(p<0.05)。さらに偽薬との比較では、ほてり のぼせ、寝汗、不眠 倦怠感での改善が投与 4 週および 12 週で認められた(p<0.05)。Kupperman index では、投与 4 週および 12 週で有意な改善が認められた(p<0.05)。性ホルモン、生化学検査において有意な差は認められなかった。

【結論】

ピクノジェノールは、少量の投与であっても、更年期障害の改善をもたらすことが示唆された。